



パートナー通信安曇野 第44号

発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内
TEL：0263-81-1325

2017.10.24

URL：http://azumino-furusato.com/

構成：木船



みみより情報①

「安曇野さんぽ2017秋」のお知らせ！

「ふるさとさんぽ」と「さとやまさんぽ」を一体化して昨年度スタートした「安曇野さんぽ」。2017年秋版は、10月21日の堀金田尻、11月5日の豊科熊倉、12月3日の穂高新屋のふるさと3コース、11月11日の堀金角蔵山のさとやま1コースで開催します。

各コースとも定員は15名、参加費が1名1000円(中学生以下無料)。尚、さとやまコースは健脚向きで、軽登山の体力が必要となります。歴史文化薫る秋の安曇野を一緒に歩いてみませんか？詳しくは別紙案内をご参照ください。

これまでのふるさとさんぽの様子



みみより情報②

「まちなかカレッジ2017秋」開催のお知らせ！

「旧保高宿まちづくり構想」の第一歩としてスタートし、5年目を迎える「安曇野まちなかカレッジ」。6回目となる今年は、10月28日～12月3日に安曇野学8講座、一般(まちゼミ)16講座の全24講座で開講します。

応援団の関係では、等々力代表が「初心者の方の方言講座」、川崎副代表が「仁科濫觴記で解く泉小太郎と八面大

王の謎」、宗像副代表が「安曇族と物流の関係性」、古田会員が「観て、触って、知る天蚕」講座を開講します。また、期間中にはハロウィンパレードや神竹灯&みちあかり等の多彩な催しも予定されていますので、是非ご参加ください。尚、参加には原則として事前申込みが必要となります。詳しくは別紙案内をご参照ください。



みみより情報③

「安曇野セミナー」開催のお知らせ！

当NPOが加盟している「安曇野暮らし支援協議会」では、11月23日(祝日)に、大阪の「マイドーム大阪」にて、「安曇野暮らしセミナー」を開催いたします。当日は午前9時より11時50分まで、子育て世代

をターゲットとして、「働く・育てる」をメインテーマとして安曇野に移住を考えている人たちに情報を提供し、個別相談会の場を設けます。移住体験談は当NPOの山下美鈴さんです。心当たりの方に

ご参加を勧めてください。また、来年の1月27日(土)・28日(日)には、冬の安曇野体験ツアーを計画しております。冬の安曇野を体験していただくいい機会です。こちらにもよろしく。

報告① 「第25回ふるさとウォッチング」を開催しました。

第25回ふるさとウォッチングは10月1日、貞享義民の里で知られる三郷中萱地区で開催されました。参加者54名は4つのグループに分かれて地区内を巡りました。グループごとに案内役のスタッフがそれぞれ个性的かつ独自の切り口でガイドします。赤グループは、多田加助が松本藩内全域を巻き込んだ騒動の指導者になり得たのは何故かという答えを探すことにしました。加助宅跡や熊野神社では加助の人となり、地域内を縦横に走る

堰では開発や水争いに果たしたであろう役割を、寺院跡や石造文化財には農民の願いや信仰心を思いながら、捕縛された加助たちが牢獄まで曳かれていった千国道や熊倉橋道など古道を歩きました。また、地域の人々が加助に寄せる思いが結実した貞享義民館の見学も印象に残るものでした。参加者の中に地元の方がいて、ご自宅の立派な庭を拝見させていただくというサプライズには皆さん喜ばれていました。



👉 当日の様子

報告② 「安曇野環境フェア2017」に出展しました。

10/7,8の二日間、堀金総合体育館で開催された安曇野環境フェアに出展しました。10/8には景観3プロジェクトと合同でクイズラリーを実施、多くの家族連れでにぎわいました。また、午前中は屋敷林の見学会、午後は三角島スケッチ大会の表彰式も行いました。

来場者は二日間で1700名ほどと、まずまずの出足でした。今年のテーマは「安曇野の水」。水環境基本計画に関連した地下水講座や5町村の水道水の利き水など興味ある企画も行われました。また、世界の鳥の巣と原画展はとても不思議な興味ある鳥の巣が展示されました。



👉👉 当日の様子

環境フェアは今年で10回目、

報告③ 「不用食器回収」と環境フェア 展示の報告。

標記の活動を市民のボランティアの多数の皆さんのご協力で、無事終了いたしました。この活動は、3R(家庭内の不用食器の「再利用、資源としての再生、廃棄物としての減量化」)を目的とした運動です。おかげさまでこの4年間の実績としましては、

- 1、不用食器の回収活動が市民に浸透したこと。
- 2、市民からのボランティア参加者が約70名を数えたこと。
- 3、出品食器の再使用の運動が定着したこと。
- 4、再生資源として、循環型資源再生ラインに貢献できたこと。
- 5、安曇野市で埋め立てしているゴミ(家庭からの食器)の量が激減したこと。



といった結果を得ることが出来ました、この活動を今後継続して、市民の中に環境に関する意識の向上に貢献したいとおもいました。スタッフの皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、継続してのご協力をお願いいたします。